

活用型情報モラル教材



かまくら



情報活用能力を身に付けよう（15分 授業）

1人1台タブレットを上手に活用するために、基本となる情報活用能力を身に付けましょう。

タブレットを使う様々な場面での上手な使い方とそこで必要となる情報モラルや情報セキュリティ、さらにはトラブルが起きた場合の対応について学びます。



使う前に

ここから、タブレットを使った学習がはじまります。

ここでは、タブレットを上手に使うために知っておくべきことや気を付けること、トラブルが起きた場合の対応について学びます。

最初にチェックしてみよう

- 私は、どのようなWEBアプリやクラウドサービスがあるのかを知っていると思う
- 私は、AIが得意なことや苦手なことを知っていると思う
- 私は、タブレットを使った時に起こる危険性について知っていると思う
- 私は、トラブルが起きてしまったときに適切に対応することができると思う

タブレットを使った学習ではWEBアプリやクラウドサービスを利用することがあります。
WEBアプリやクラウドサービスでは、ネット（ブラウザ）さえ使える環境があれば、どのタブレットでも同じアプリやサービスを利用することが可能になります。
皆さんのタブレットで使うアプリやサービスで、WEBアプリやクラウドサービスを利用していると思うものを見つけてみましょう。



見つけたもの



スキルのポイント

例えば、WEBアプリやクラウドサービスを使うと、それぞれの人のタブレットからネットを通じてファイルにアクセスし、共同で編集することができます。また、ネット上の問題に答えると、先生がすぐにその人を判別して採点することもできます。

こうしたWEBアプリやクラウドサービスはとても便利ですが、自分の個人情報をきちんと管理したり、セキュリティに気をつけたりしながら使うことが重要になります。





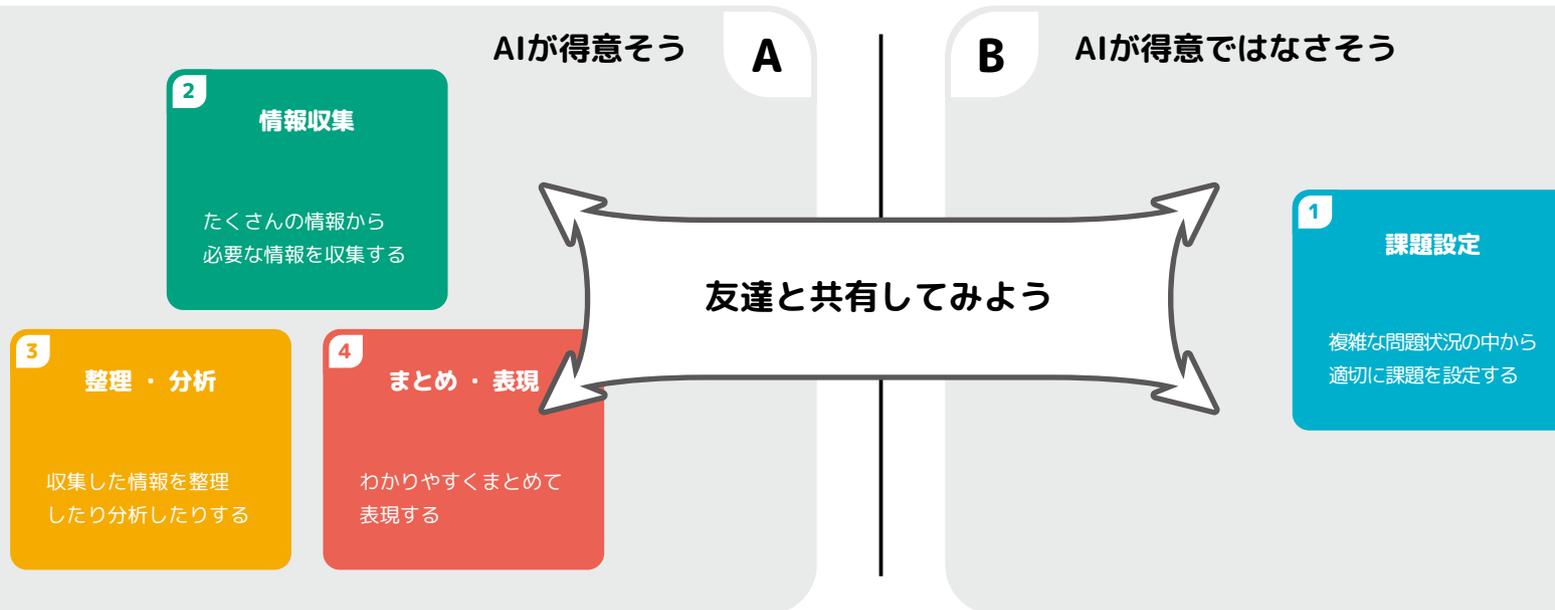
次の4つの内容を、「AIが得意そう」と「AIが得意ではなさそう」なものにわけてみましょう。



AIが得意そう **A**

B AIが得意ではなさそう

例



★ スキルのポイント

現在のAIでは、たくさんの情報を収集したり、それらを分析して、特徴を見つけだしたりすることを得意としています。また、それらをわかりやすくまとめたり、画像や映像で表現することも得意としています。

では、苦手としているのは为什么呢。

それは、何を分析するかを設定することです。課題や問いを設定する力こそ、これから求められてくる力になるでしょう。

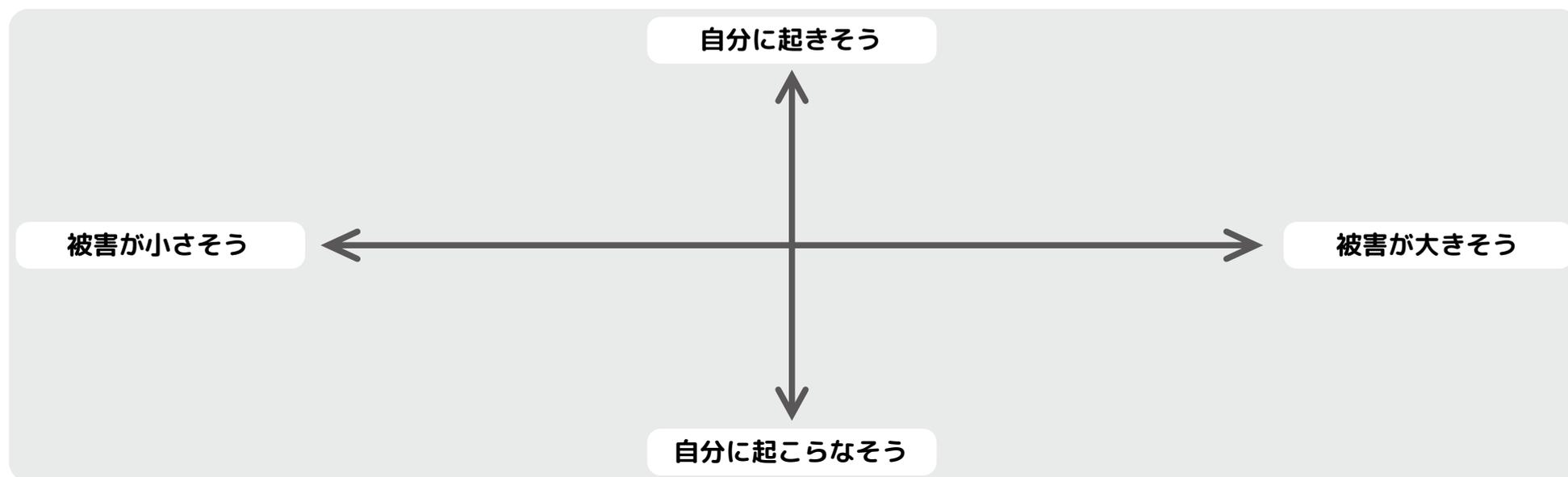


タブレットを使うことで様々な便利さがある一方で、リスク（危険性）も存在します。

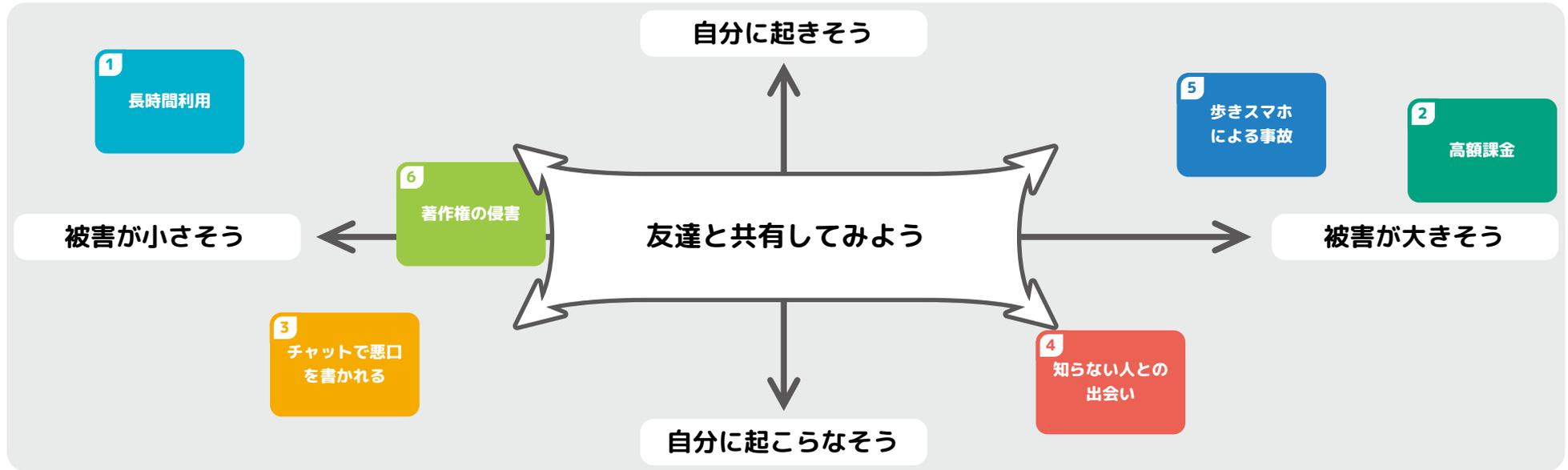
リスクは、危険の「発生確率」と危険が起きたときの「被害度」で考えます。そのリスクを適切に見極め、対処することを「リスクマネジメント」と言います。

次の内容について、皆さん自身に起きそうな確率と起きた場合の被害度で分類してみましょう。

- 1 長時間利用
- 2 高額課金
- 3 チャットで悪口を書かれる
- 4 知らない人との出会い
- 5 歩きスマホによる事故
- 6 著作権の侵害



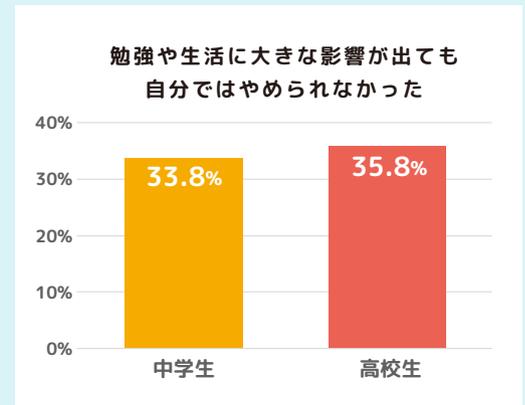
例



★ スキルのポイント

リスク（危険性）を考えるときは、「どのくらい起きそうかな？」と「起きた時にどのくらいの被害があるかな？」を考えることがリスクマネジメントの基本になります。特に、自分に起きそうで、被害が大きそうなリスクを優先して対策を考えてみましょう。

なお、比較的多くの人に該当するのは「長時間利用」です。調査では、「スマホやネットを使って勉強や生活に大きな影響が出て自分ではやめられなかった」と回答した中学生が33.8%、高校生が35.8%いました。





クライシスマネジメントを身に付けよう

リスクマネジメントでは「トラブルが起きる前にどのように防止するか」が重要ですが、「トラブルが起きてしまった後にどのように対応すればよいか」を考えることも重要であり、これを「クライシス（危機）マネジメント（管理）」と言います。

次の内容について、トラブルが起きた時に自分が適切に対応できるかどうか考え、分けてみましょう。

- 1 勝手に自分の写真がWEBに掲載された
- 2 SNSで知らない人からイヤなことを書かれた
- 3 WEBを見ていたら、お金を請求するサイトが突然開いた
- 4 ネットで注文した商品が届かない

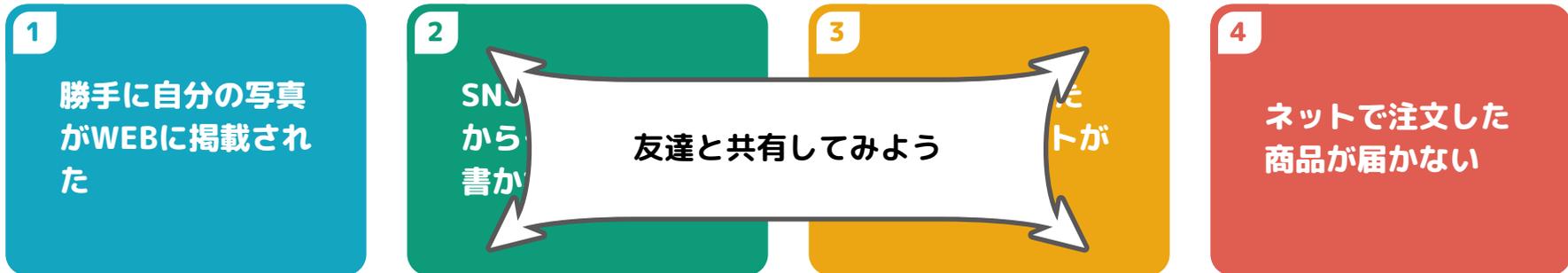
適切に対応できる

A

B

対応の仕方がわからない





★ スキルのポイント

- ①勝手に自分の情報が掲載された場合には、その状況を記録・保存し、管理者に削除依頼を行います。
- ②知らない人からのメッセージは、その人をブロックし、メッセージを見えないようにしておきます。
- ③「〇〇円をお支払いください」などの表示が出た場合は、やみくもにクリックせず、WEBサイトを閉じます。
- ④商品が届かない場合は、事業者連絡し、悪質な場合は消費生活センターや警察に相談します。

もちろん、これらの対応はケースバイケースですが、基本的な対応を考えておきましょう。また、困った時は保護者の方や学校の先生に相談しましょう。



使う前に

まとめ

よき使い手になるために

タブレットは、使おうと思えば、学習のためだけでなく、遊びにも使えてしまいます。
タブレットを学習や生活で上手に使うための方法とリスクへの対応を学び、有効に活用しましょう。

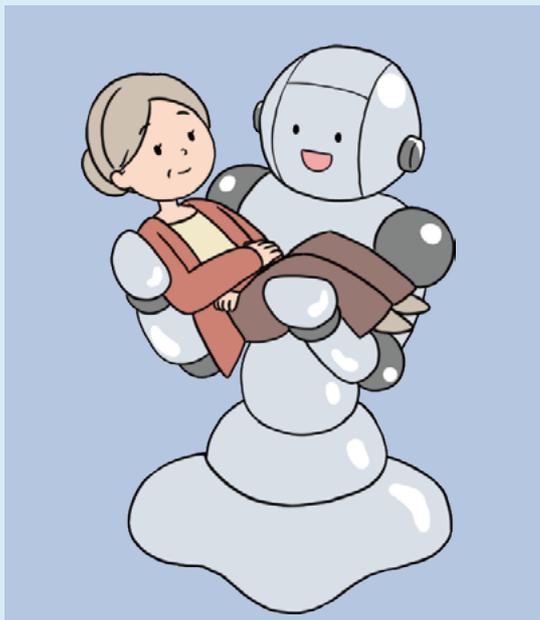
チェックしてみよう

- 私は、どのようなWEBアプリやクラウドサービスがあるのかを説明することができる
- 私は、AIが得意なことや苦手なことを説明することができる
- 私は、タブレットを使った学習で起こる危険性について説明することができる
- 私は、トラブルが起きてしまったときに適切に対応することができる



使う前に

情報技術 × 社会問題



現在、日本や世界では、気候問題、食糧問題、エネルギー問題、医療問題、労働問題、教育問題、多様性の問題、自然災害など様々な社会的な問題が存在します。

このような社会問題について、情報技術を用いて解決していこうという試みが行われています。

調べてみよう

現在、情報技術で社会問題を解決しようとする試みには、どのようなモノがあるだろうか？

話し合ってみよう

今後、どのような情報技術で、どのような社会問題を解決できる可能性があるだろうか？